
海の日記念小説

明日香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海の日記念小説

【Nコード】

N1514M

【作者名】

明日香

【あらすじ】

ありがとう。

。

君の笑顔が宝物。

(前書き)

今日は海の日ですっ!!!
というところで記念小説です!!!

私の命はもう長くはない。

だから……

最後に

君に伝えよう。

「曾良君」

「なんですか？」

「私がいなくなっても……たくさん笑うんだよ。」

「なに……言ってるんですか……。貴方はまだいなくなったりはしない……。元気になったらまた僕と旅をして……。また断罪して……。また一緒に笑いあうんです……。!!！」

「……………うん。ごめんね、曾良君。でも……………私はもう長くない。だから……………せめて最後は笑ってほしいな。」

「……………。」

「私は君と過ごした時間が何よりも宝物だから……………君の笑顔が大好きだから……………」

「……………っ……………!!」

「大丈夫。曾良君は一人じゃない。太子君や妹子君、閻魔君や鬼男君がいるから……………だから……………きっと笑える。私も空から君を見ているから。」

「芭蕉さん!!」

「曾良君……………笑って?」

「……………これで……………いいでしょう?僕は大丈夫です。貴方に心配されなくても……………僕は笑ってますよ。」

そういつて涙でぐちゃぐちゃになった顔で微笑んだ曾良君。

その顔は……今までで一番優しい顔だった。

「曾良君……。」

ありがとう。　　。

(後書き)

読んでくださりありがとうございました!!

最後に一言

海の日最高っ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1514m/>

海の日記念小説

2010年10月9日02時44分発行